

学校を飛び出して、  
地元で活躍するオトナを取材しよう！

# 牛乳を楽しんで もらえる場所に

棚橋牧場  
棚橋和也さん



棚橋牧場は百年以上続き、学校給食や宅配サービスなどで地元から愛される『牛乳屋さん』です。また、二〇一六年にオープンした、直売店『THE MILK SHOP』では、オシャレなカフェスペースで牛乳を楽しむことができます。

多くの人から愛される棚橋牧場五代目の棚橋和也さんに、仕事への思いやこだわりを伺いました。

Q: 大学を卒業後はすぐに棚橋牧場を継がれたんですか？

大学を出て、東京で飲料を売る仕事を四年くらいしていました。物を売ることや、バイトの人を管理をしたり、商品の仕入れなどもしていました。そのときは牛乳に一切関係なかったけど、岐阜に帰って来て、関市にある牛乳屋さんで二年くらい行きました。牛乳の知識が全くなかったので、そこでゼロから工場でしたりとお話を聞いてもらいました。

小さい頃から両親の働く姿を見てきましたが、あんまり考えずに進学して、両親も「自分がやりたいことをやりなさい」とって大学に出してくれました。牛乳とは全然違うことを勉強していましたが、就職活動をするつとときに他の仕事はピンときませんが、就職活動だから、多分自分は牛乳屋の長男として牛乳屋をやるんだらうなと思って、池田町に帰ってきました。両親が働く姿を見て育つてきて、せっかく長く続いている牛乳屋さんを自分の代も続けたいなと思ってこの職業をえらびました。

Q: 大学卒業後の経験が今に活かされていることは何ですか？

うちの会社は家族でやってきて、他の会社のやり方を知らずに自己流で作っていました。だけど、他の牛乳屋さんで掃除の仕方など、今までよりキレイになるやり方を教わりました。牛乳屋さんは作る時間と同じくらい機械の洗浄をするので、その牛乳屋さんで学んだことを取り入れることによって、衛生面で、よりキレイに安全な状態にできるようになりました。

Q: どんな時にやりがいを感じますか？

飲んだお客さんに目の前で「おいしい」と言ってもらえた時にやりがいを感じます。あとは、幼稚園の夏祭りとかにも呼ばれて行ったことがあります。その時に小さい子たちが喜んでくれる顔を見ると嬉しいです。学校給食にも携わっているんで、年に一回、「牛乳屋さんへ」と書いて手紙をくれる学校もあります。そういうものももらうととてもやりがいを感じます。

Q: 辛かったことを教えてください。

カフェを作る前は、パッケージを変えたりしていました。池田町の外に売りに行こうと始めた時は、休日にあるお祭りとかイベントに売りに行っていました。



Q: このカフェのこだわりを教えてください。

一番は牛乳をいろんな形で楽しんでもらう場所、ということだと思います。だから、普通のカフェとは違うと思います。ここは牛乳屋さんがやっているカフェということ、ほとんどが牛乳のはいたメニューです。そのほかに、牛乳を使ってアイスクリームを作る体験もしています。毎年やる、無地の牛乳瓶に自分で好きな絵を入れてオリジナルの牛乳瓶を作るという企画も、このカフェでしかできないことだと思います。こだわらやる意味があって、その作った瓶に新鮮な牛乳を入れてお渡しをして、牛乳を楽しんでもらう、というこだわりがあります。

Q: 今後のお店の夢を教えてください。

今はやりたいことがまだ半分くらいしかできていません。工場の中を案内する工場見学とかを夏休みとか学校が長期の休みに入ったときに、一回か二回は子ども達を募集してやっています。本当はもっとやりたいです。また、このカフェでシーズンに一、二回アイスクリーム作りもしています。でも、一回に出来る人数は限られているので、もっと牛乳を使って楽しめるよう

牛乳には関係なかった四年間も、「物を売る」という面は同じでした。他の店よりたくさん売るために工夫をした経験があるから、売るものが牛乳に変わった今も工夫したり考えたりできていると思います。



Q: 池田町でお店をしようと思ったのはどうしてですか？

お店が百年くらい続く中で今まで池田町の人に支えられてきました。池田町に住む人に飲んでもらったからずっと続けて来られたので、池田町がやっぱり一番大事な場所です。もちろん会社もここにあるので拠点というか、まずは池田町でしっかり今まで通り地元の人にたくさん飲んでもらいたいと思っています。地元の人が一番来られる距離に一番の基地を作っていきたいと思います。これからはもっと人の集まる場所に売りに行くかもしれないけど、とりあえず最初は池田町で今まで通り頑張りたいという思いがありました。

な企画をやっていたいです。そして、もっとたくさんの人に牛乳ってこんなことできるんだなっていうのを楽しんでもらえる場所にしていきたいと思います。



## 【感想】

棚橋さんのお話からお店に対する想いと、池田町やご家族を大切にされていることが伝わってきました。大学卒業後の経験も、今に活かされていて、繋がりを感じすごいと思いました。また、現状に満足するのではなくて、いろいろな願いを持ってお仕事されていることを知り、心を動かされました。私にとっても今回の取材は将来につながるいい経験になりました。私も夢を追いかけて、実現に向かって努力のできる人になりたいです。